

2016. 2/14

北國新聞

田島衆院議員が
廃棄物政策を語る

民主県連政治スクール

民主党県連の「いしかわ政治スクール」は13日、金沢市近江町交流プラザで開かれ、田島一成衆院議員が「持続可能な社会を目指して 自治体と環境問題」と題し、ごみ処理問題と廃棄物政策の変遷を語った。

田島氏は、ごみの分別や再使用、再生利用意識の浸透で国内の一般廃棄物量が減ったとし、「今後は工場から出る廃熱などを発電に利用し、エネルギー回収を進める必要がある」と述べた。党政策調査会部長代理の梅坂英樹氏も、党のエネルギー政策を説明し

た。

県連政調会長の妻田徹金沢市議が同市のごみ有料化をめぐる議論を紹介した。